



人生が100年に延びる現代、住み慣れた地域で自分らしく生きていくためには、地域の人々と顔が見える関係を築き、お互いに支え合うことが大切です。世代間交流や、地域のつながり、人と人とのつながりは「**地域のお宝**」であり、楽しく生きるための力になります。今回は、そんな地域の交流について紹介します。

九合地区 内ヶ島町 ～みんなの居場所～ 「oimosan.食堂」



「oimosan.食堂」は、毎月第4土曜日に内ヶ島町集会所で開催されているこども食堂です。代表者は青木みどりさんです。青木さんは以前、劣悪な環境で生活している状況の子どもを目の当たりにしたことがあり、そのことがきっかけで「いつか自分にできることで、子ども達の役に立ちたい」と強く決意し、「oimosan.食堂」を始めました。地区の皆さんへは区長さんをお願いして回覧板で周知しているほか、Instagramでの発信や店舗にチラシを貼っていただくなどしてお知らせしています。一度来店した方の口コミにより訪れる人も増え、今年の12月で一周年を迎えます。そんなみんなの居場所「oimosan.食堂」をご紹介します。



お菓子はパチンコ店「マルハン」様から、パンは「ohana」内ヶ島店様からそれぞれ支援していただいたものです。来場した子ども達はとも喜んでいました！

当日、子どもたちに振る舞われたお弁当です。お弁当に入っているプチトマトは、ボランティアとして参加している方のお姉さんのご家庭が農家で、こちらからご支援いただいたものです。また、いちご農家の峰崎様からもご支援をいただき、子ども達に大人気でした！



「oimosan.食堂」は午後4時から6時の時間帯に開催されます。運営側はそれに合わせて準備を進めます。当日配布されるお弁当やお菓子が続々搬入されてきます。参加費は子供（小学生）は無料・大人（高校生以上）は500円です。

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

スタッフの皆さん



代表
青木みどりさん

スタッフはボランティアの方々も含め、代表の青木さんを中心に8名で運営しています。発足時には、群馬県の補助金を活用し調理用具などを購入しました。

「oimosan.食堂」で使用する食材は支援していただくものを最大限に利用し、工夫して運営していますが、それでも毎回の食材確保には苦労しています。代表の青木さんは「みんなが笑顔で、ここに来るのを楽しみにしてくれればそれが一番の喜びです。開店中は子ども達と一緒に簡単な工作等を楽しむ時間も作っており、楽しく過ごしています。皆様のご予約をお待ちしております！」と話してくれました！

参加者の声

請地さん家族



請地さんご家族は内ヶ島町に住んでおり、回覧板を通じてこの食堂のことを知りました。子ども達も毎回楽しみにしています。友人家族を誘うこともあり、家族や友人と顔を合わせる良い機会になっています。提供されるお弁当もとても美味しく、毎回楽しみにしています。

深川里奈さん

佐々木琴葉さん



中央小学校の3年生の深川里奈さんと駒形小2年生の佐々木琴葉さんです。2人は「太田アルセドファミリア」というフットサルチームに在籍しています。「来ると楽しいので、これからもここに来たいです」「食事がとてもおいしいし、お友達と話せるから楽しい」と話してくれました。

浅海嘉一さん

岡野陽子さん

中澤玲子さん



館林で市議会議員をしている岡野陽子さん。4月から館林市内で炊き出しの活動をしているので、参考にさせてもらおうと来場しました。中澤玲子さんは飯塚町在住で、館林での炊き出しの手伝いをしています。

岡野さんの後援会長をしている浅海嘉一さんはお菓子や焼きそばを寄付してくださいました。



「oimosan.食堂」は地域住民が運営していることで、子どもを地域全体で見守る体制を築いています。そこで世代を超えた交流も生まれ、地域コミュニティの活性化にもつながっています。

